

藝園と草牧

第三卷・第十号

昭和三十年十月一日(毎月一回)發行

夕張郡長沼十字視内一〇六六
雪印種苗株式会社
中央研究農場



雪印種苗株式会社

冬枯れしない青刈エンバク

岡山黒について

青刈飼料作物としてエンバクは作り易いので各地に広く栽培されるようになってきた。暖地では主として秋播され早春より利用されるのであるが、品種により播種期により、しばしば冬枯れすることがあり、飼料給与上甚だ支障をきたすことがある。

特に無雪地帯の軽鬆土に冬枯れの危険が多い。当場ではかかる地帯における冬枯れの少ない、耐寒性ある品種の撰抜を継続してきたが、岡山黒が適当と判断されたのでその特性の概略を述べ大方の試作をお奨めいたしたい。

岡山黒は岡山県庁改良課の久黒久弥氏より数年前少量分譲を受け、四十数種のエン

第一表 昭和二十九年比較試験成績表

品 種 名	播種期	出穂期	四月十日		五月十日	
			草丈	刈取量	草丈	刈取量
岡山黒	〃	〃	一〇五	三六	一〇五	三六
ゴライステック	〃	〃	五三	三五	五三	三五
ノールデン	〃	〃	四三	二六	四三	二六
ゴールドデン	〃	〃	四三	二六	四三	二六
レッドアルゼリヤ	〃	〃	四三	二六	四三	二六
シヤ	〃	〃	五二	三〇	五二	三〇
R六六〇二	〃	〃	五二	三〇	五二	三〇
カントリーコンモン	〃	〃	五二	三〇	五二	三〇
カルパーソン	〃	〃	四六	二〇	四六	二〇

バクと共に試作した結果成績良好なので、昭和二十八年さらに分譲を受け、中間試作的に約一反歩試作し、その適否について試験し、その有望なることが判明し、且つ採種も可能であり、経済的に成立するので有望品種と決定し、二十九年さらに最後の比較試験を続行し、三十年はじめて弊社カタログに登載をみたものである。

その他、前進外十品種の試験を行つたが越冬状態が稍不良なので成績は省略する。九月或は十月上旬播種の場合には前進外多くの春播系品種は、殆どは越冬状態は不良で経済的には論外となることは兩三カ年の試験で明らかである。

この成績は神奈川県農業試験場の試験成績とも全く一致し、早播きは年内刈りに適するも越年は収量少なく、特に九月播きの年内刈りでは極端な寒害を蒙り、収量は皆無の状態であつたと報告されている。しかし十月下旬乃至十一月上旬に播けば前進と雖もよく越冬して、翌春五月以降には相当の収量を挙げ得るのであるが、酪農経営において早春

根菜類の欠乏や品質の悪化、サイロの底をつく粗飼料の不足は一つの危機ともいふべきで、その時期に栄養豊富な青刈りのあることは最も好ましい。

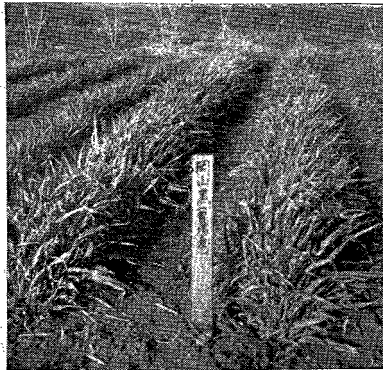
岡山黒はこの要求を満たすものである。四月十五日前後において、既に反当一、〇〇〇貫を突破するのであるから頗る有望である。早播きの場合を比較してみると第二表の通りである。三十年冬は降水

第二表 青刈燕麦播種期試験成績 (三十年四月二)

前 進	岡山黒		備 考
	播種期	草丈	
〇、四、二八	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二六	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二五	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二四	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二三	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二二	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二一	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、二〇	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一九	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一八	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一七	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一六	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一五	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一四	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一三	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一二	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一一	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、一〇	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇九	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇八	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇七	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇六	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇五	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇四	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇三	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇二	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇一	九、五	一、〇八〇	以下省略するも
〇、四、〇〇	九、五	一、〇八〇	以下省略するも



燕麦岡山黒(5月5日 雪印千葉農場)



麦燕岡山黒(3月16日 雪印千葉農場)

量少なく寒風吹き荒み、四月上旬には霜害があり一般に前年に比して生育が甚だしく遅れた。

岡山黒は早生種で早播きしても冬枯れの危険少なく、早春より利用が出来、稈も強く倒伏が少ない。エンバク中最も早期利用に適する品種である。暖地の多毛作的飼料栽培には頗る有望で、跡地には各種の春播き作物を播くことが出来る長所を有している

エンバクはライ麦と異なり、出穂後も硬化することなく家畜の嗜好に適し、根群の発達もライ麦に比較して強くないので跡地の利用も容易である。エンバクを栽培するときは早播き(九月~十月中旬)は秋播系統の岡山黒、晩播き(十月下旬~十一月中旬)には春播系統の前進の如き品種を撰択し、前作の關係により応用自在にすることが肝要である。岡山黒と前進の併用が飼料自給計画上好ましいことと思われる。

雪印千葉農場 安孫子六郎 最上誠二